令和7年度全国学力・学習状況調査　古平町内の状況及び今後の改善方策

○ 教科に関する調査の状況

矢印の意味

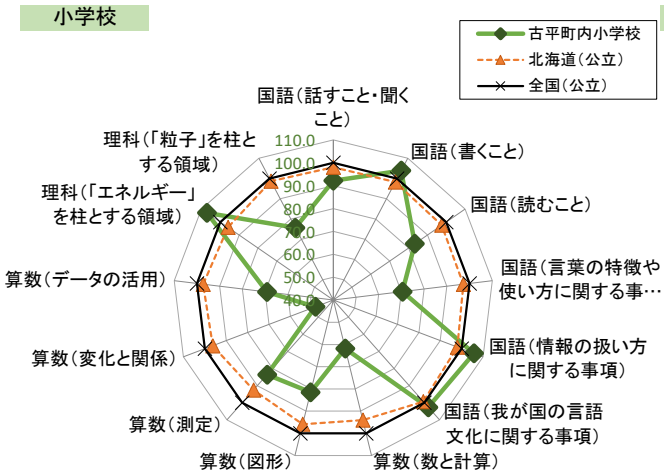
→ 同程度（±1ポイント未満）	
↗ 1～4．9ポイント上回っている	↘ 1～4．9ポイント下回っている
↑ 5～8．9ポイント上回っている	↓ 5～8．9ポイント下回っている
⇑ 9ポイント以上、上回っている	⇓ 9ポイント以上、下回っている

【平均正答率・平均IRTスコア】中学校理科は平均IRTスコア

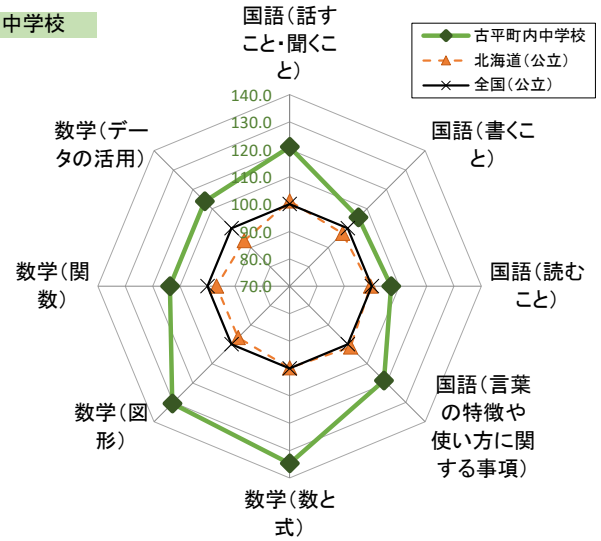
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
古平町	↘	⇓	⇓	↑	⇑	⇑
北海道（公立）	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
古平町	↓	⇓	⇓	↑	⇑	⇑
全国（公立）	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

【レーダーチャート】
・教科の領域別に**全国を100**とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの。
・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校

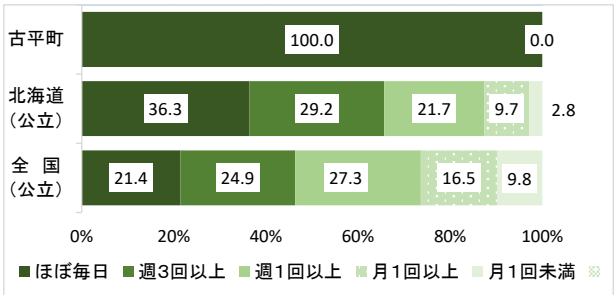


中学校

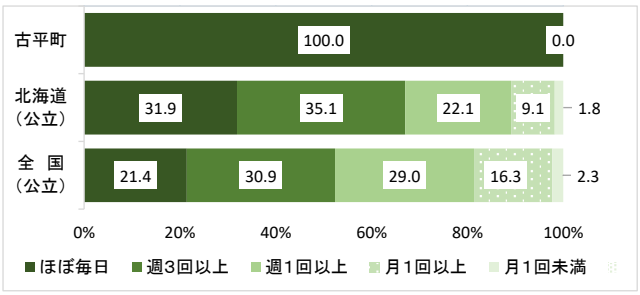


○ 質問調査の状況

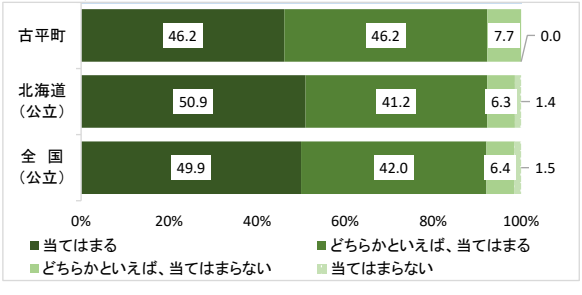
小学校
＜学校質問＞
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



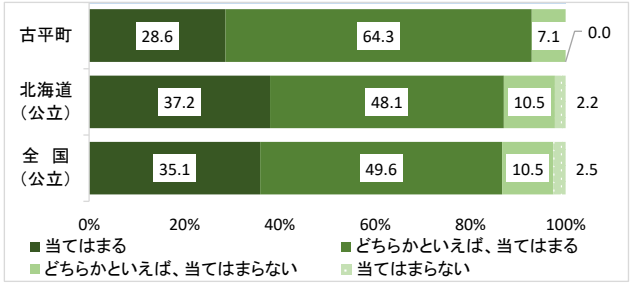
中学校
＜学校質問＞
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校
＜児童質問＞
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校
＜生徒質問＞
学級の生徒との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

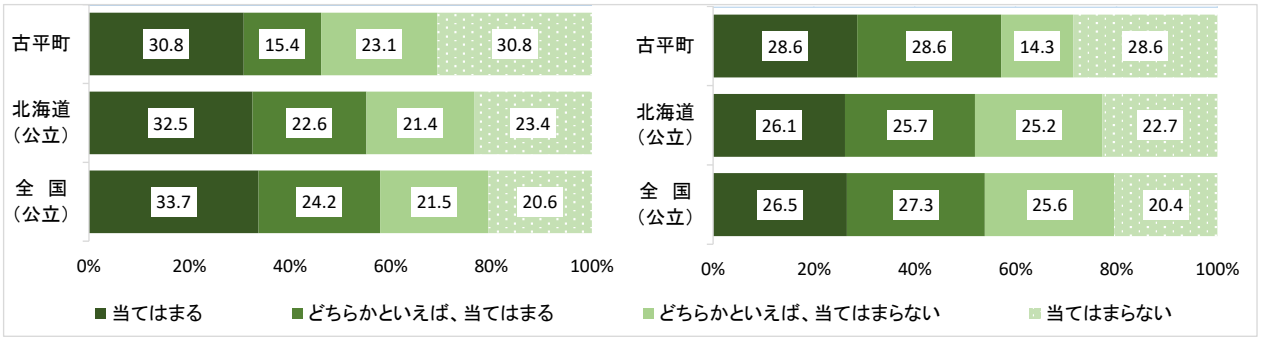


○ 調査結果の分析

・小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・　中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

小学校
＜児童質問＞
算数の勉強は好きですか



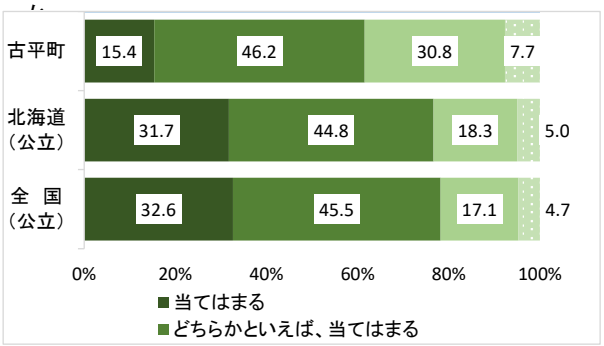
中学校
＜生徒質問＞
数学の勉強は好きですか

○ 調査結果の分析

・算数の平均正答率が全国及び全道を下回った状況は、算数の授業は好きだと回答した児童の割合が全国及び全道を下回ったことが、要因の一つとして考えられる。

・数学の平均正答率が全国及び全道を上回ったのは、数学の勉強は好きだと回答した生徒の割合が全国及び全道平均を上回ったことが要因の一つとして考えられる。

小学校
＜児童質問＞
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思います



中学校
＜生徒質問＞
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思います

○ 調査結果の分析

・自分と違う意見について考えるのは楽しいと回答した児童が、全国及び全道平均を大きく下回っていることが、国語の話すこと・聞くこと及び読むことの全国及び全道平均を大きく下回った要因の一つとして考えられる。

・自分と違う意見について考えるのは楽しいと回答した児童が、全国及び全道平均を上回っていることが、国語の話すこと・聞くこと及び読むことの全国及び全道平均を上回った要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

〈個別最適な学びと協働的な学びの推進〉

・児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を図ることによる児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進を行っていくとともに、特に小学校について協働的な学びを推進し、他者の意見について考えられる能力の育成を推進していく。

〈学習習慣の定着を！〉

・グラフには載せられなかったが、平日や土日の勉強時間について、2時間以上勉強している児童生徒の割合が全国及び全道平均を下回っていた。来年度からはフィルタリングソフトを導入し、ICT端末を活用した学習支援ソフトによる家庭学習の習慣化を図る取組の推進を図っていく。

〈スマホ・タブレットから離れよう！〉

・学校の授業以外に普段30分以上読書すると回答した児童生徒は大きく全国及び全道平均を下回っており、読書は好きですかと回答した児童生徒の割合についても全国・全道平均を下回っている為、アウトメディアチャレンジを行い、スマホやタブレットから離れることで読書の習慣をつけるきっかけとなるような取組を図っていく。